

授業科目名	人間教育学ゼミナール（応用）(2100310)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（応用）(25105)		
時間割担当	高木悠哉		
実施期	通年	単位数	4 選択
曜日・時限	火・5		

授業の目標・概要

人間教育学ゼミナールで修得した基本的な研究手法を利用し、各種の先行研究の詳細な読み込みから、専門領域で研究を遂行するための基礎的手法を修得します。本ゼミナールは、人間教育学の中から、教職に就く際の、教師側、児童側それぞれの心理的な要因について専門的な知識を習得を目指し、文献研究、データの取得、分析、等を、実際に学生それぞれのテーマに基づいて演習的に指導を行います。

学習の到達目標

学習の到達目標は、卒業論文に関連した文献を読み、各自のデータを収集しながらその分析から論文作成までの技術を身に付けることにより、科学的な研究方法を理解できるようになることです。

授業方法・形式

前期の授業は、主要文献の紹介、自身のテーマの文献のリストアップから、最重要文献を1本決定し、それを読解、まとめ、発表することで、文献研究の手法と具体的な研究計画を策定することを目指します。後期は、多くの文献購読を進めながら、実際にデータを取得、分析し、論文にまとめること、さらに、得られた成果を分かりやすく発表することを目指します。したがって、授業は演習形式であり、各自が課題をもって毎々の授業でそれぞれ課題を振興します。質疑は適宜回答します。

授業計画

- 1 オリエンテーション ゼミの指導計画、主要文献の紹介
- 2 研究実施時の注意点の確認
- 3 主要文献紹介と読み方、発表の仕方について
- 4 研究テーマの概略の決定
- 5 関連文献検索（1）網羅的な文献のリストアップ
- 6 関連文献検索（2）それぞれのテーマでの主要文献のリストアップ
- 7 関連文献検索（3）主要文献から発表する文献の決定
- 8 関連文献研究（1）発表する文献の内容理解
- 9 関連文献研究（2）発表する文献のまとめ方
- 10 関連文献発表準備（1）発表文献をレジュメにまとめる手法
- 11 関連文献発表準備（2）発表分権のパワーポイントでのまとめ方
- 12 関連文献発表（1）各自の発表と討論会
- 13 関連文献発表（2）各自の発表と討論会
- 14 研究計画立案（1）発表、討論会での示唆による研究計画立案
- 15 研究計画立案（2）研究計画のまとめ
- 16 オリエンテーション 実際の調査手法の決定と個人ごとの研究計画の討論
- 17~22 研究指導（1）個人ごとの研究計画に基づく序論およびデータ取得
- 23~24 研究指導（2）個人ごとの研究計画に基づく研究遂行の状況報告会
- 25~29 研究指導（3）研究成果のまとめと発表準備
- 30 研究成果報告会

成績評価の基準

発表と毎回のリフレクション（40%）
 文献購読、研究遂行に使用する研究ノート（40%）
 最終成果報告（20%）

授業時間外の課題

主要文献は授業時間内で研究しきれないため、各自の自宅での毎日の文献購読を課す。
 データ取得は、講義時間内で行うことはできないため、講義時間外でのデータ取得が必要である。
 成果の報告や文献のまとめなどは、授業時間内で一定の時間行なわなければ発表できない。

メッセージ

ゼミは、1度の欠席が致命的な遅れとなるので、欠席は特別な理由がない限り認めない。また、講義外での自学がゼミでの学修をより充実したものとするため、講義時間外での課題を達成することが必須である。英語の文献が基本となるため、相応の準備を行ってほしい。

教材・教科書

心理学研究法 補訂版 高野 陽太郎（編集）、岡 隆（編集） 有斐閣アルマ ISBN-10: 4641220867

参考書

APA論文作成マニュアル 第2版 APA アメリカ心理学会（著） 医学書院 ISBN-10: 4260012207